

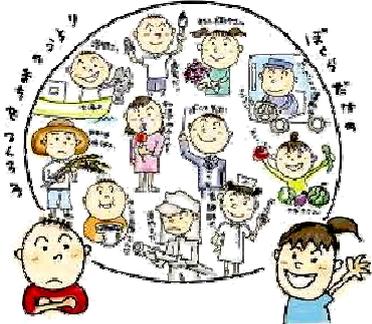
## NPO 法人楽笑

### 子ども向けイベント 仕事体験「キツザみや」

楽笑では「誰もが楽しく笑いに満ちた街づくり」を目指しています。そこで、私たちだけの想いを形にしようとするのではなく、住民の意見を取り入れた活動で 信頼関係を築くため、一緒に楽しい時間を過ごそうと、イベント活動を実施することとしました。

対象者としては子どもを選定しました。理由としては、「お兄さんお姉さんと遊びたい」という意見や、保護者からも自分のことより子供に対してのニーズが多く、学生からも子供と関わりたいという意見が多くあったことがあげられます。

内容としては、子供の職場体験をベースにしたイベントを以前から考えていたことと、住民のニーズが一致するところが多く、「キツザみや」を実際に形にすることを決めました。運営には今後の社会を担う学生を中心に、まちづくりや人手不足の福祉分野に若者が集まるきっかけ作りとなればと考えています。



## 清菊会（ボランティア舞踊）

### ボランティア舞踊



清菊会創立 50 年の舞踊の会。その中の有志により発足された会です。

永年、稽古に励み、市民会館や公民館で発表しているものを、ボランティアとして老人施設を訪問し、市民会館、公民館へ出向くことのできなくなってしまった方々にも 同じ様に美しい舞踊を見てもらい喜んでいただくことを目的にしています。そして、その行為が多くのお年寄りの励みとなり、元気な生活を送ってもらえるように手助けをしていきたいと思ひます。

老人施設に出向いて、ともに喜んでいただける様に我々と同じ様に小道具（うちわ、鳴子、棒、扇）を持って参加してもらうことを目的に申請しました。

同じ小道具を持ち 座ったままでも一緒に手足を動かして楽しんでもらえます。常には自分からなかなか動かない人でも、民謡の調子に合わせ手足を動かして、職員さんを驚かせています。リハビリにも絶大な効果があると思ひます。

中間報告をしてくれた団体さんはそれぞれの活動の忙しい中、センターに足を運んだり、メールや電話でのやり取りの中で報告書を作成していただきました。

しかし、報告会では十分な時間がとれず、思いのたけを吐き出しきれずに終わってしまったと不満の声をいただいてしまいました。終了報告ではしっかり時間をとり、発表していただくと思ひます。

それでは、審査会で審査委員をされた今井さんの報告会での言葉を掲載します。

## 地域福祉サポート知多理事 今井友乃さん（審査会審査員）の総評（要約）

久しぶりに皆さんの活動を見させていただきました。みなさんがこのまちづくり助成金の狙っている処をはずされてないなというところを、うれしく感じました。

みんなが参加していただけるように活動していきたい。自分たちが一方的に見せるだけじゃなく、みんなを巻き込んでいく形で活動する。

いろいろな層の方と連携をしていくことが大事で、「お金が取れたな」とか「自分たちの事業が出来た」ということも、もちろん大切なことですが、連携をとって、みんながまちづくりを考えていくという姿勢がとてもいいなと思ひました。

そして、みなさんがそれを十分やってらっしゃるんだと思って感動しました。

今後はぜひとも団体内がどう変わったかとか、皆さんの意識がどう変わったかとか、まわりに対してどんな影響を与えられたのかを聞かせていただきたいと思ひます。